



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

- 【学校教育目標】
- やさしく (徳)
 - かしこく (知)
 - たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和4年9月16日
第20号

『いざ、子供たちのため未来のために「今こそ」！』 【南小の学力向上施策①】

【本年度の重点】 ○「学び合い、高め合う」教育（児童⇄教職員⇄家庭・地域）

子供たちの 自己肯定感 を高め、 人間関係形成力 と 学力 の向上を図る教育の推進

次代を担う子供たちの「生きる力(生き抜く力)」を育成するために本校が重点としている取組を、学力向上施策に焦点を当て、改めてご紹介します。時代の要請のもと新しく改訂された学習指導要領も全面実施3年目を迎え、本校では、「主体的・対話的で深い学び」に資するものとして『学び合い』による授業を全校挙げて推進しています。また、「教科担任制」、「非認知能力」や「言語能力」の育成にも取り組んでいます。

ご家庭・地域の皆様も、子供の心に寄り添い「認めて、褒めて、伸ばす教育」を根幹に、子供たちの自己肯定感や学習意欲などの情意面をさらに伸ばし、規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣化、家庭での言語環境の配慮やノーメディア・チャレンジと家読の奨励等とともに引き続きご協力をお願いいたします。

□ **【本校の推進している『学び合い』】** 技術革新など急速に変化する時代において、主体的に変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことができる人材の育成が重要とされています。そこで国では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、子供と子供、子供と教師が考えを交流し合うことで、新しい考えや違う考えに出会ったり、今までの考えを見直したりして理解を深めることや教材の価値に深く触れたりする「協働的課題解決型」の学習活動を目指しています。本校では、「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、教師主導の「一斉指導」ではなく、『学び合い』による授業を通して主体的に課題に取り組み、他者との協働の中で課題の解決を図ったり、ねらいに沿って学びを深めたりする子供の育成に努めています。

□ **【学び合い研修会】** 本校は、『学び合い』を提唱した東京大学 名誉教授 佐藤 学 先生をはじめ、長年、学びの共同体スーパーバイザー(元・茅ヶ崎市教育委員会教育長) 谷井 茂久 先生に直接のご指導をいただきながら実践研究を積み重ねてきました。今年度は、新たに 埼玉大学教育学部 教授 北田 佳子 先生のご指導の下で研修を進めていきます。北田教授には、11月18日にご来校いただき、全教員の授業を参観していただき、ご指導をいただく予定です。「学び合い」による授業改善を深めることで「探究と協働の学びの創造」を目指し、国が提唱する「主体的・対話的で深い学び」に繋げていきます。

□ **【教科担任制の充実】** 国は令和4年度から、高学年において外国語(英語)、理科、算数、体育の4教科で1人の教員が特定教科を受け持ち複数の学級で教える「教科担任制」の導入を打ち出しました。教員が学級担任としてほぼ全教科を教える「学級担任制」が原則の小学校では大幅な見直しとなります。本校では、国が提唱する「教科担任制」を本校独自で積極的に導入しています。

【南小独自の教科担任制(例)】

- **5・6年生** ⇒ 理科、社会、音楽、図工、家庭、外国語、書写、総合で実施 算数は少人数指導
- * 他学年でも理科や技能教科を中心に教科担任制を実施。本校ならではの教科担任制で、「専門性の向上」と「小・中学校間の滑らかな接続」を図るとともに、児童理解の面でも、子供たちがたくさんの教員と繋がる等の効果を上げています。

□ **【学力(「認知能力」)向上のための「非認知能力」の育成】** *非認知能力=認知能力ではない能力全般
学力向上の根底となる自己肯定感(自己存在感、自己有用感)、自信、意欲、共感力、協調性、自制心、勤勉性、忍耐力、やり抜く力、などを学級・学年・全校での集団づくりやピアサポートを重視した縦割り集団活動の中で育成します。

□ **【言語能力の確実な育成】** 全ての授業や教育活動を通して「言語環境の整備」と「言語活動の充実」を図り、知識・技能を活用した「思考力」、「判断力」、「表現力」を育成します。その他にも、「よむYOMUシート」や「読売新聞ワークシート」、「漢検ワークシート」等も活用しています。また、「俳句の創作」や課題について考えた内容の表現活動を充実させています。

□ **【学習のめあて・学習過程・学習成果の可視化】** □ **【家庭学習用「A」ドリル(eライブラリー)】** 等



全国1位(国語)! 県でも上位! 南っ子たちは着実に伸びています!!【学力・学習状況調査】

この度、「埼玉県学力・学習状況調査」と「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。埼玉県の調査は、平均正答率だけでなく個人や集団の経年の「伸び」もわかります。調査の概要は、以下の通りです。本校は県や市の平均正答率を大幅に上回る状況です。全国学力・学習状況調査では、国語が全国1位(秋田県と同じ平均正答率)という結果でした。

令和4年度埼玉県学力・学習状況調査結果【概要】

【学年ごとの平均正答率(国語・算数)】

| 教科 | 4年 | | 5年 | | 6年 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 |
| 埼玉県 | 62.1 | 63.0 | 56.2 | 63.0 | 63.8 | 59.8 |
| 坂戸市 | 59.0 | 60.3 | 53.1 | 60.0 | 61.5 | 56.6 |
| 南小 | ◎63.6 | ◎63.0 | ◎58.4 | ◎66.0 | ◎66.7 | ◎61.6 |

【国語】平均正答率は、対象学年(4・5・6年生)全て、埼玉県、坂戸市の平均を大きく上回っています。

【算数】平均正答率は、対象学年(4・5・6年生)全て坂戸市平均を大きく上回り、5・6年生は県平均も上回っています。

【埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸び・学年の平均(令和3年度・令和4年度比)】

| 学年 | 4年生 | | 5年生 | | | | 6年生 | | | |
|-----|-----|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------|-----|
| | 国語 | 算数 | 国語 | | 算数 | | 国語 | | 算数 | |
| 年度 | R4 | R4 | R3 | R4 | R3 | R4 | R3 | R4 | R3 | R4 |
| 埼玉県 | 6-C | 5-B | 6-A | 6-A | 5-A | 6-C | 6-A | 7-A | 6-B | 6-A |
| 坂戸市 | 5-A | 5-C | 6-B | 6-B | 5-B | 5-A | 6-A | 7-B | 6-C | 6-A |
| 南小 | 6-C | 5-B | 6-B → 6-A | 6-A | 5-A → 6-B | 6-B | 7-C → 7-A | 7-A | 6-A → 6-A | 6-A |

○5・6年生は、国語・算数ともに学力が伸び、初年度の4年生の学力レベルは坂戸市を上回り、県と同程度です。
★学力の伸びを表す「学力レベル」は、各レベルが3段階に分かれています。C ⇒ B ⇒ A の順になっています。

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果【概要】

| 教科 | 国語 | 算数 | 理科 |
|-----|-----------------|------|------|
| 全国 | 65.6 | 63.2 | 63.2 |
| 埼玉県 | 67 | 64 | 65 |
| 坂戸市 | 64 | 60 | 60 |
| 南小 | <u>71(全国1位)</u> | 61 | 62 |

【国語】平均正答率は、全ての項目で全国、埼玉県、坂戸市の平均を大きく上回り、全国1位の平均と同じです。

【算数】平均正答率は、坂戸市の平均を1ポイント上回り、「データの活用」では全国を4ポイント上回っています。

【理科】平均正答率は、全て坂戸市の平均を大きく上回り、「粒子」に関わる項目は全国や県平均を上回っています。

学力調査の「質問紙調査」から(「学力」との相関関係が見られるもの)【概要】

質問紙調査(生活面等の調査)の結果から、児童の学力と相関関係が見られるものが多くあります。

特に、①ルールや順番は守ります。②学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか。

③テレビゲームをしたり、携帯電話(スマートフォン)を使ったりすることについて、家の人と約束を決めていますか。

これらの3つの質問に肯定的な回答をした割合が、本校は県や市を大きく上回っており、肯定的な回答をした児童は学力も高い結果となりました。これらの結果から規範意識や自己肯定感を育てることの大切さが分かり、さらには、家庭における教育の重要性も示されています。今後も学校・家庭・地域で連携を図り、子供たちのより良い成長に向けて、日々の授業の充実とともに児童を「認めて・ほめて・伸ばす教育」に取り組んでいきます。

| 質問事項 | ①ルールを守る | ②自分のよさ | ③家庭での約束 |
|------|---------|--------|---------|
| 埼玉県 | 59.5% | 61.2% | 37.8% |
| 坂戸市 | 56.0% | 61.7% | 37.3% |
| 南小 | ◎61.6% | ◎64.4% | ◎45.2% |